東京農業大学成人学校

同窓会会報

Green Academy O. B's News.

創刊号
No. 1
1983. 6. 1

編集・発行
成人学校同窓会
会報編集委員会
委員長　和田　繁一
東京都世田ヶ谷区桜ヶ丘3—19

成人学校同窓会—待望の誕生—
設立総会は満席
懇親会も和気靄々

成人学校で学んだそれぞれの年度間では、同期の会合をもって卒業後も互の親交を深めていたが、隠れた声に、全卒業生を対象とした同窓会の設立が強く叫ばれていた。たまたま、昨年六月、東京農大富士農場に在校生有志による一泊研修旅行を実施した際、鈴木校長を囲み懇談。談笑続出の意志疎通をはかり楽しい一夜を過した。

そのときの話題をもとに、帰京の後、六期の有志を中心に積極的に準備が進められ、学校当局の理解あるご支援と、先輩各位の熱意あるご協力により、急速に具体化。趣意書、会則案などの起案、会員確保の為の名簿作成等々、同窓会具体化の努力が結晶、玆に桜咲く、四月九日設立総会が農大四号校舎にて盛大に開催された。

創刊に寄せて

西郷　光彦

どこの学校でも同窓会というものがあるから、単に同窓会の創設ということは物珍しいことではないように思われます。

しかし、この成人学校、あえてグリーン・アカデミーと呼ばせて貰います）の同窓会となると、一味も二味も違った印象を受けます。何人が賛同してくれるか、さぞかし御心配だったに違いありませんが、また一般の学校と違って、異った人生行路を辿ってきた方々の集団であって、そう簡単に呼び掛けには応じられないのではと案じておりました。

しかし、発起人の方々の御努力加えて、この学校を修了された、多数の同窓の御賛同を得て、私の心配を全く杞憂し、第一回の総会は実に百数十名の方々が集まられたと伺いました。そして和気あいあいの中に発刊が可決され、ここに同窓会々誌の発刊に及んだという手際のよさには、唯々感服の他はありません。

私もいくつかの学校や大学の学科の設立を経験し、それらの同窓会のアドバイスに当ったことがありますが、我が国に一つしかない中高齢者を対象とする正規の各種学校々に属する成人学校の同窓会が、"このように芽をふき、葉を茂らせ、花を結ぶものか心から期待をよせて楽しみにしております。

世の中は一昔前の何十倍かの早さで変りつゝあります。面白いことに科学技術の革新の為に、このインフレの十年間に、むしろ値が下った商品すら出てきました。

こうした変転極まりない世相の中で、お互に旧交を温め、共に時代の流れを語り合いつゝ、親睦のうちに知見を広めながら、若い世代に溶け込みつゝリードしていく素養を培う集いであることを嘱望してやみません。

生き甲斐は他人がなすべきものではなく、自ら創造すべきものです。この会報がその啓蒙に拍車をかけて下さることを念じて筆をおきます。

（東京農業大学理事長）

同窓会誌の発刊を祝う

鈴木　隆雄

此の度本法人傘下の成人学校グリーンアカデミーに同窓会が作られ、これを記念して会誌の発刊も計画され、近く創刊号が発刊されることを伺いました。

去る昭和五〇年に本法人の中では一番新しい学校として発足した成人学校グリーンアカデミーも八年を経過し、卒業生数も今春卒業された方々を加えて六〇〇余名となられたことを承知し、また先般は同窓会を作られましたことからお祝い申し上げます。

私共の大学は明治二四年（一八九一年）の創立で、今年で九二年を経過し、この間一貫して農業単科大学として農業及びこれに関連する産業の従事者、指導者の育成に努力して参りました。戦後此処世田谷桜ヶ丘キャンパスに移ってからも三八年となり、地域社会にも定着し、大きな貢献が出来るようになっています。

特様の成人学校グリーンアカデミーも待望の新校舎の建築も始まり、この九月には立派に完成する運びとなっており益々の発展が期待されています。私共大学に勤務する者は協力して成人学校グリーンアカデミーの育成に努力する所存であります。

この時に卒業生の皆様の手によって自由度く同窓会を作られ、さらに会誌の発行まで企画されましたことに対し深い敬意を表すると共に同窓会の御発展と会員の皆様の御健康と御発展をお祈り申し上げます。

（東京農業大学々長）

同窓会の設立を祝して

鈴木　正三

去る四月九日成人学校の同窓会の設立総会が文字通り盛会裡に開催されここに充実した同窓会の誕生を見たことは誠に御同慶の至りに存じます。まさもってこと数年前よりこの企画に当られ、献身助産校を採られ、陽に当らぬ労苦をされた各位に対し衷心より敬意を表する次第であります。

当日の設立総会には私共も招待され末席を汚させていただきましたが、総会の終了の流れは極めて滑らかに情熱溢る雰囲気にはこれまでに適切な支援を欠いた私の悔極を改えて反省いたしました。成人学校は開校以来八年間約六〇〇名の修了者を出し、そのうち五〇%弱の方々が当日出席されたという現象のみについて見ましても待ちに待った同窓会の大歓声の産声を待ちあぐんでおられた方々と見たしたいと思います。

鈴木学校長

元来、世の同窓会、校友会あるいは同期会などは教育機関の卒業者・修了者には付随して存在することは今更蛇足にして紙面を汚すまでもありません。しかし我が成人学校の同窓会は一般、特徴あるものと考えます。まず修了者の全部の方々が所謂人生の修羅行での活躍から一心見かれ、いわば荒万別功なり名とげられた紳士・淑女の集りの同窓会であって十人十色の方々の考え方の統一一致現象による結束と考えています。私共の過去に過ごした若い時代の学窓生活のそれは何んとなくその性格を異にしているものと感じます。しかしこの設立の趣旨は誠に自然にして成人学校を修了され残された人生のオアシスを求め、たくさんの思校を一層密にし、親睦を第一に掲げられ、成人学校での楽しく笑って過ごされた一年あるいは二、三年をそのまま持続永続させ、学校の標榜する生涯教育の具現であります。これは実に当を得た成人学校同窓会の特徴を賛成えたいと存じます。確に一般の同窓会の様に集った学校に対する愛着の情薄き難く、ノスタルジア的若い世代の心情も存在することも否定しませんがむしろこれより成人学校で相互に楽しく学んだ親睦の持続性がもんとなく先行している様に感じますので、敢えてこれを特異的設立の趣旨と私なりに極言しているわけであります。

次に同窓会という機関の名で成人学校の将来に向っての発展に大いにバックアップされるのもこの目的の一つとか。多言を要せず各位のご心情はただただ有難く感謝の二字に尽きるのみです。改めて御礼申し上げたいと存じます。学校は創立八年目の小学校一年の右往左往する少年時代であります。定めし各位には色々なご批判不満足なこともありましょう。しかしご承知の通り少数の職員は学校設立の趣旨を体し鋭意最善を尽しておる次第ですが何卒同窓会々員各位の寛大振いをお願いすることが私共の悲願であります。

同窓会発会に際し格然たる本年度の事業内容の一つである会報発行に当り、謹んで慶祝の微意を表し、同窓会々員各位の益々のご健勝と多幸を祈念すると共に私見に対するお叱りを覚悟しながら要望の一端を述べましたことを何卒悪しからずご寛容願います。

（東京農大成人学校校長）

総会場を埋めた参会者

＝設立総会＝

内田会長挨拶（要旨）

私は一期生の内田でございます。このたび皆さんの推せんにより成人学校同窓会の会長を仰せつかりました。とても、うまくやってゆく才能はございません。期待されて身が縮む思いが致します。先程は校長の挨拶を聴き有難ございました。学校当局も同窓会に期待されている様子なので、我々役員もさらスタップの努力を得てこの会が発展してゆくように努力をしてまいりたいと思います。そしてよき雰囲気の同窓会に発展させ更に多くの入会者があることを望みます。今、一年中で一番気候が好いときです。皆さんも健康に尚一層御自愛されて、この会のため御協力をお願い申し上げます。

（文責、編集子）

＝経過報告（要旨）＝

弦巻副会長

成人学校は地域社会に恩返しをするために、中高年者を対象として開校され、八年を経過した。卒業者は約六〇〇名に達し、その中の多くの方々は社会人として勉強しそして卒業して行った。本校の卒業生は他の老年者に比較して元気な者が多い。在校中はクラブ活動にも励み多くの友達を得た。それらを通じて親交を深め一部グループによる親睦会はあったが、同窓会のような全般的なものはなかった。昨年十月同窓会設立の話が急速に盛り上った。この期を逸しないように、有志が集まって原案を作って以後数回の審議を重ねた。本年一月に設立準備委員会を開き次で発起人会に切り換えて準備を進めてきた。このようなわけで準備期間が短かかったので不備の点も多いが何卒御寛容をお願いすると共に本日多数総会に御出席をいただいて厚くお礼申し上げます。成人学校の卒業生の全数は585名で、その中同窓会への加入者は333名です。不加入の表示者は48名。返信なき者112名、住所不名10名が内訳です。本日の総会には御出席の方は加名で、懇親会には何名が参加されます。簡単ですが経過報告いたします。

（文責、編集子）

懇親会の一駒

◇募　集

成人学校同窓会々報に相応しい誌名（愛称または副題、ペットネーム）を会員の皆様より募集いたします。振って応募下さい。

応募作品は、同窓会長および編集委員の合議により入選を決定し、次号より使用します。

入賞は、入選一点、佳作三点とし、それぞれ記念品を贈呈いたします。

別紙申務局長まで、はがきで御応募下さい。

応募締切　七月十日

真心を花に託して——
第一園芸は花と緑をとおして
生活に豊かさをお届けします。
第一園芸
本店　東京都渋谷区渋谷1—1—4（青山学院前）
TEL：409—6671
定休日：毎週木曜日

'83春のフラワーショー
3／20(月)〜6／30(木)
東洋一の　花の
大バラ苑・メルヘンランド・ふしぎトピアⅢ
夢と科学と不思議な世界
葉祥明の世界
3／20〜6／30
向ヶ丘遊園
●入園料／おとな800円、こども400円
●小田急向ヶ丘遊園駅下車モノレール接続
TEL／044—911—4281

園芸のことなら……
園芸のデパートへ!!
★6月の催し物　恒例せたがや名物
ほうずき市6月18日より開催予定
東苑緑化(株)
砧園芸センター
東京都世田谷区喜多見5—26—22
☎417—4641
営業時間9：00AM〜6：00PM

Scanned by CamScanner

成人学校同窓会結成を祝して

井尾　武雄

同窓会の誕生は成人学校も愈々中興の時期に臨んだことを証するもので、結成に当り種々のご苦労を苦服された雄倆会の情誼に対し深甚の謝意を表する共に心から慶賀にたえません。

今年は新しい校舎も完成される上に学校としての体制がこゝで完備した感があり、もう草創の時代は終りゆくさい堂々たる学校の頭を思うと、感慨一入のものがあります。この酷当時の思い出も意義あるかとその一端を申述べましょう。成人学校の生れは当時の小野理事長、西蛇常務理事を中心として理事の先生方が地域社会の方々の為にと発想され種々異論の中で決断されたものでした。たまたまわたくしがその設立の準備委員長に任ぜられ井村延喜委員、飯村一鳴事務長、山道主事等がこれに当り、校舎、教授内容等々立案して各種学校として世田谷区を通して都に認可申請することになりました。教授内容は農大の先生方のご協力で漸く出来、校舎は証之館を大改修することでしたがこれは第一種専用住宅地と各種学校は許可されないことが判明して用途変更願いを都に提出するなどその為開校予定が大巾に遅れる事態になりました。その間坂本先生を懇請して委員方を仰ぐこととなりこの延期の数ヶ月間坂本先生の献身的なご協力を得て開校の準備が整いました。さて学生募集に当っては苦労最高の方々に周知するため夏の暑い最中説明に廻りましたがなかなか的確な反応が掴めないまま募集に踏み切りましたが、園芸、生活教養三学科併せて十数名という状況だったので園芸のみで出発する事を得たりして一寸前途暗澹たる思いでした。西蛇常務も家じゅうさり幸い理事の中に八日比氏に関係あるかを通して特別にテレビのお知らせの時間に報道していたゞきそれを契機に応募者が急増して八十名を超える様になり漸く安堵を覚え得ました。

さて十月開校の喜びもつかの間授業内容充着せず農大の先生方のご努力によってのみ成り立つ学校講師先生方のご厚意を得ることも苦労でなくなり日々毎回となく農大の研究室に先生方をお尋ねしてお願いする状況でその間種々の試行錯誤のくりかえしでした。同時に実習も行わなくてはならず特殊地には二期生の方々の努力で雑草をとり除き汗とほこりにまみれながら徐々に整備されゆくその様子はつゆも目に浮びて来ません。初期の頃の卒業生諸君は真の意味での成人学校の基礎造りに専念して下さりその功績は永日の隆昌の原動力となったことを忘れてはならないと思います。学校の経営は地域社会に依る立てまえとは申せその赤字は大きいので私は出来る限り少なくする様にも努力しました。後には成人学校育成基金の誘が起り井村氏を中心に農大の先生方や地域の方、成人学校の教職員卒業生在学生の醵出による予定の額にも達しその面でも一歩前進し学校運営も暫く安奉する に到り喜びにたえません。同窓生諸君の努力で今後の方が真んで学ぶる学校になったことを改めて申述べ一層の発展を看うて終ります。

（前校長）

よりよき日々を

坂本　義夫

新校舎の竣工を間近に控えたいま、同窓会発足の運びをみたことは、重ねての慶びである。

結成の機運は、すでに醸されていたようであるが、修了生延八百余を迎えた現在時宜を得たことと思われる。

開校時の迫型は限りないが、下手の長談議に似て紙幅を費やすのをおそれるが、開設このかた発展拡充の一途を辿っていることは、刮目に値する。

修了生の方々は、一期一会という、千載一遇というか、グリーン・アカデミーとの出会いを縁として、ここに生涯学習の糧を得、これからの生活のよすがとされたことは、なによりのことと思う。

わが国における高齢化社会の到来は、急ピッチで進んでいる。

文部省の調査（昭和五十七年）によると、二十一世紀には老年人口指数は、世界最高の圏内に入ると推計している。文部省もこのような情勢に対応するために、生涯教育の充実・生涯学習を図るとしている。

このことは、高年齢層に対する生涯教育の面からもその充実が要請されているとき、行政としての対応の一斑を示したものにすぎないが、高齢者の志向は多様であるとも言われている。

成人教育、生涯学習などの必要性はいろいろな場で強調され、行政も各種の社会参加事業や余暇施設など、社会参加への機会をつくっているが、望まれるのは、高齢者の志向に適う場、「心のふれ合う場」である。

その意味において、人それぞれの思惑はあろうがグリーン・アカデミーの存在は、生涯生活のよりどころとして、また心のふれ合う場としての有用な役割を果たしていると思う。そこには、行政に期待できない多くのものがあるからである。

近年、中高年齢層の勉学志向が顕著の傾向にあるという。

嬉しいかな可目が暮れたわけでもなく、日暮れて道遠しということでもない。いたずらに春秋高きことをかこつまでもない。志学に年齢は問わないことである。

現在は都市のみでなくいたるところに、カルチュアセンターをはじめ文化産業が人々の能力や個性を伸ばすためのなかだちをしている。ただ、その内容が個人の志向に適うかどうかである。

それが、学問的教養にせよ、また趣味的教養にせよ、自分を生かすためのものであるならば、生活のリズムをつくるのに役立つことは疑いを容れない。「教養は若いときに身につけたから、いまさら」ということばを耳にしたこともあるが、「学びて思わざれば則ちくらし」のたいかも知れない。

年々、歳々人同じからずである。教養は洗練された人生の態度である。恢々ゆとりをもってしたい。

それにつけても、開校当初ユニークなコースであった「生活教養科」のことどもが想い出される。有為転変は世のならいとはいえ、一芋の風月に託するような無為自然の心がまを持って、これからの人生を見つめていこうとする枯淡な雰囲気が漂ってくる。

人生の哲理は、このような雅に求められるものであろうか。

「生活教養科」再開待望の声も ひとしきりであったが、知る者は云わず、云う者は知らず。感慨ひとしおである

ともあれ、同窓会は修了生の「心のひろ場」としての役割を果たすことが期待される。多士済々である。運用の妙を発揮されることを念じ、餞辞一言お祝いまで。

（前教頭　文部省教育センター）

同窓会の発足を祝して

青木　栄文

四月九日の成人学校同窓会結成総会は好天温暖に恵まれ、花吹雪の中の華かの装帯もなく、講会裡に無事完了いたし、ご同慶に存じます。

殊に、本会結成の企画とその準備の中心となられた、弦巻さん始め、在校生有志諸賢の献夜を分たぬご協力により、行届いた結成趣意書と会則の作成を始め、卒業生名簿とその住所の確認等々の、極めて手数のかかる作業を殆んど完成された上、私ども準備委員に提示意見を求められた次第で、これだけの大同窓会を、斯くも手際よく運び上げられたには、さぞかし筆舌に尽せない苦労の多かったご事と推察いたされますが、それだけ皆様のご満足と、お喜びを噛みしめて居られることと存じます。

席上頂戴しました会員名簿と近況信を拝見しただけでも紙背に滲む奉仕の尊いお気持のほども偲ばれ、心から御祝申し上げます。

なお、本同窓会は、世間一般に謂う所の同窓会とは趣を異にし、あまりそもお互いの人格陶冶と、志操向上を目指した多目的同窓会であります。

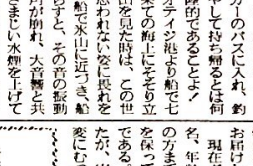
当面、役員の皆様方には、本会所期の目的達成のため、更に残り

アラスカ紀行

鳥巣　貞子

朝の十時、真夏のキラキラした陽光の中に飛び立った機は快適な飛行を続ける。先程朝をむかえたのに急速に夜の闇の中に入って行く。時差十九時間、再び昨日の旅をむかえたのだ、手元の時計は午後十時半を示す。

アンカレッジ空港に到着。



思い出の校舎

入国手続きをすませて、ロビーに出ると「おばあちゃまー」と孫の明るい大声と、娘の笑顔にむかえられた。翌朝、カーテンの間から明り陽の光に目が覚める。今日は陽の光の明るさが、何かしら嬉しい。

初めて見るアラスカの景色、今朝の気温は摂氏一度、空の青さ、空気は肺の底までしみ通るさわやかさ、資源に恵まれた広大な寒国と云ったイメージのアラスカも夏は野山は緑に包まれ、野生の花々、「なんなかまど」の赤い実はあくまでかゝ、目をたのしませる。

私の訪れた八月は、丁度鮭釣りのシーズンであった。かつて採金者が馬を引いて通ったであろう道はつはいウェイとなり、キャンピングカーやボートを牽引した車が釣場へと急ぐ。私達も早速今日は川釣りに出かける。腰まである ゴムの大長靴に釣竿をかつぎ、河に入ってみると銀色の鮭が河面に舞い、其処ここに群をなしている。

孫は河原に穴掘り、水たまりを作って小さな魚を泳がせている。近くの子供と網子で魚を掬っている。色ものん気なもので時に捕えられている。産卵を終えた鮭は枝命を果した身を流れにまかせて流れてゆく。私達は七十キロもある道を鮭が待ちなのだ。土地の人は冬の食糧の確保に忙しそうだ。わずかな釣人が無限の鮭を釣り上げている。中で来期を思い、一刻もおしんで身いっぱいに陽光を受けてのびのびと釣りをたのしんでいる。

毎朝五時頃からお弁当を用意しみんなで走るまわる。氷河というものは海に浮いているとばかり考えていた私は、車で近くまで行き歩いて氷河に登ることが出来るのには驚きたった。氷河の氷片をキャンピングカーのバスに入れ、釣った鮭をのせて持ち帰るとは何と発想が大陸的であることよ！

しかしポーティジ港より船で七時間、北の果ての海上にそそり立つ巨大な氷山を見た時は、この世のものとも思われない姿に打れれを感じた。砕氷船で氷山に近づき船は汽笛を鳴らすと、その音の振動で氷山の一角が崩れ、大音響と共に海中にすさまじい水煙を上げて落下する。氷山の裂目は青いインキの様な神秘な色である。さすがに寒い、ダウンの外套に身を包んでいるが、小ささみに震える身体は寒さが、その身体を絶する神秘なるものへの畏れか、船はアラスカ湾を縦断し、ヴァルディズ港へ夜の帳を迎む。

草原には馬に乗ったエスキモー人を見ることがあるそうだ。壮大なキャニオンをぬける頃、広大な平原にアラスカ縦断のパイプラインの銀色の輝きを見る。自然を見なれた目に人工の物が異様に映った。地上約二メートルの高さに固定されたパイプラインは、ヴァルディズ港から北極海まで約千三百キロメートルほどの高さというのは自然の分布異変を恐れた、自然保護団体が動物の交流を考えて、企業側とかなりのきびしい戦の末、勝ち取ったという。

あのパイプラインの下を住き来する動物の姿を想像して何ともうれしい気持になる。

広大な自然と、その中に息づく生命を守る人々の心を強く感ずにはいられなかった。（一期）

雑感

猪田　仁一

農大成人学校で三ヶ年学んだ。その間に得た知識を、何かに生かしたいと考えていた。そのころ世田谷区老人大学の一期卒業生が、発起人となって創った「世田谷ボランティア友の会」農園グループに、私は参加する機会を得た。すでに五年の歳月が流れた。週一、二回の活動であるが、区の農園を借りて、花や野菜を作っている。花は切花のもの、野菜は主に芋類である。収穫したものは、区内の有隣ホーム、さつき荘、ナオミ学園などに、時には老人会館にもお届けしている。

現在グループは、男女合せて九名。年齢は六十歳から七十歳すぎの方まで、皆さん年齢以上の健康を保って居られ、たのもしい限りである。成人学校で学習をしてきたが、実際に作ることになると大変にむつかしいことが多い。グループのなかに知識の豊富な方があって、作業の折々に教えてもらっている。現場の指導だけに、早く身につけて有難く思っている。

学んだことを、このように実際に応用できることの幸せを感謝している。この頃である。

作業のあとお茶のときは、年齢に相応しい話に花を咲かせ、農作業のまも山ばなしもあって、とてもよい仲間である。

ボランティア活動はむからすんで何かをすることあるが、老地に向る私たちは、その活動を生活のリズムの中に組みこんで、すべての面にプラスになっている。

花を届けた時なと、先方から感謝される折の喜びは、たまらなく嬉しく、未だかつて味わったことのない感激であり、心に滲みるものである。

七十路に入り、晴耕雨読型の生活をそのためのも、ボランティアの活動によるものと感謝している。（二期）

見学旅行会のおしらせ

一、七月中旬に幕士五湖を含む一円のバス旅行を実施します。

(イ)費　用　約一万円（一泊二日）
(ロ)宿泊所　農大幕士会館又は区の施設等
(ハ)備　考　全行程バス利用
(ニ)予　約　御希望の方は六月二十日迄に　七期　杉山　宏へ

御希望の方は六月二十日迄に　七期　杉山　宏へ

(イ)費　用　（未定）
(ロ)御指導　農大　大塚先生
(ハ)備　考　バス利用・日帰り
(ニ)予　約　御希望の方は六月二十日迄に　五期　宮崎直之助へ

三、六月二十六日に横浜の三渓園を見学します。

(イ)日　時　六月二十六日十時三十分集合（雨天決行）
(ロ)集合場所　横浜駅地下街東口噴水前
(ハ)費　用　横浜駅より交通費及び入園料観賞料等・約五〇〇円
・昼食・自弁
(ニ)御指導　農大　河原先生
(ホ)申　込　御希望の方は六月二十日迄に　六期　須藤　延造へ

右の内、二、三項は予定でありまして、人員を把握次第詳細計画を決定して申込者に御連絡します。三項の三渓園は決定しておりますので御申込みされる方は御希望があり次第詳細を御連絡致します。

尚右の他に御希望がありましたら、文書を以て農総を事務局長宛に御申出で願います。

山形　元（六期）

新校舎つち音ひびくやよい　空完成を見ず心残りぬ

牧舎から水槽へと走り行く大陽いっぱい光る牛たち

内科・外科・産婦人科・眼科
医療法人
幸野病院
小田急・NHK嘱託
東京都世田谷区祖師谷3－30－28
TEL 483－1808 代

住いのコンサルタント
建物の調査、診断、増改築、改装などお気軽にご相談して下さい
東京都知事登録20751号
田村一級建築士設計事務所
管理建築士　田村　襄（6期生）
事務所　世田谷区岡本1－16－10
〒157　TEL. 708－0789

シチズン
フラワーハウス
営業時間　10：00～18：30
定休日　毎週火曜日
●鉢花・種苗・観葉植物・盆栽・植木等販売
●園芸資材・器具（各種用土、花台、植木鉢）販売
●温室・サンルーム・造園・設計及施行
●貸鉢（室内用、室外用フラワーボックス及植込み）
新宿区高田馬場4－29－27
シチズンプラザ中庭
363－2211（代）362－5633（直通）
店長　山口芳宏
S28. 農学卒

フラワースタジオ
文華苑　経堂駅前（南口）
森田文雄
TEL（429）5187
華道・茶道・ギター・園芸教室・慶弔生花・造花一式、貸植木、園芸品、用具農薬一式
園芸コンサルタント
東京農大グリーン・アカデミー講師
ヤマハカルチャーセンター経堂店
グリーン・インテリヤ専任講師

Scanned by CamScanner

成人学校讃歌

岩倉　具仲

一　夢見るアカデミー
大事な講義を聞くうちに
いつしかやさしい子守歌
あちらこちらでスヤスヤと
これが夢見るアカデミー

二　クラブ活動数あれど
書道に絵画はみな苦手
カニやパンダとこわれても
頑張り通した根気こそ
大和男女のたしなみは
お華に詩吟和歌の道
学ぶ窓辺に色そえる
桜ケ丘の春がすみ
剪定実習待ちかねて
買った鋏の試しかり
手当り次第に切りまくる
哀れ庭木は丸坊主

三　想い出なつかしきこの一年
先生お世話になりました
皆さん元気で四月から
楽しく専科でまいしょう。

四　（註）節は、その昔陸軍で歌っていたあの歌です。
「お国のためとはいいながら
人のいやがる重隊に……」
一つ歌ってみてトさい。

五　☆
編集委員から成人学校の想い出に何か月の凝らないものをとこわれ、この歌を思い出しました。誠に恐縮いないものですが、桜ヶ丘の三年間の思い出として頂けたら幸です。そんな訳で、一番の歌は多くの方々が実感溢れと存じます。初夏の頃、一〇三号教室で窓から吹き込むそよ風の囁きや、静かな講義のハーモニーでは、いくら瞼に心温様をかってもダメでした。又、歌の師匠である学校のハイライトは、幅広い学友との邂逅にあったと思います。初めは、只楽然としたものでしたが、様々な人生コースを辿り厳しい歳月を越えて来た同志が、机を並べて勉強したり絵を描いていると、云いしれぬ人の出合いの面白さありました。三年の在学期間はそれこそ夢の間に過ぎましたが、私たちはその三年間の友情を守る為に、毎月の会合（ろっく会）を重ね、やがて十年となります。ここで得た友情は、成人学校最大の賜物と感謝しております。二番の「カニ」や「パンダ」ですが、以前の書道の入先生は八十歳を超えた方で、無道は二刀流の範囲、中を運転されてくる程お元気でした。教室では特に姿勢を注意されて、肩肘を張ったり、背中をまるめて書いていると、早速カニやパンダにされました。三番はある時、詩吟を御詠歌のようだと云って叱られたお記憶のようだと云って叱られたお記憶のようだと云って叱られたお記憶

モデルガーデンと成人学校

金川　朝茂

およそ三十年前、NHKモデルガーデン友の会という会があり、園芸についての講座、相談などが一般向けに行われ、且つラジオ放送があった。

会場は、ほとんど農大農場（当時、馬事公苑）であり、世田谷通りに面したところ。私は、以前から近所に住んでいた関係で、日曜には楽しみにしてかかさずこの会に出席した。

土壌検査（八木沢、二宮）野菜（八木沢）など、当時の記録をもっているが、それから二十数年後、成人学校で再び八木沢先生、二宮先生に教えを受け、夢のような気持だった。

地域への奉仕という成人学校問題提言を、学校側からかかったことがあるが、三十年前既に地域一帯に対して「開かれた学校」の姿があったのだと思われる。

ところが、五年前定年退職の折、成人学校の姿をきき、モデルガーデン以来の心がわきたって一日散にかけつけ、入学のよろこびにひたった。

これから、何程のことが新しく学び得られるかわからないが、大学ならびに成人学校の先生や、皆さんと心のつながりを大事にしていきたい。（四期）

新宿御苑の楽しみ

グリーンアカデミークラブの発足と現況

中山　富蔵

私ども入学以来要望いたしておりました東京農業大学成人学校同窓会が、先輩、同僚各位のご尽力により目覚く誕生いたしましたことは、誠にご同慶に堪えないところであります。

趣味を同じくする同志が一緒に園芸の勉強ができましたことは、人生の上に意義深く幸に存じます。学校で習得した知識技能を前掲の形で社会に奉仕しながら、さらに園芸、造園学の勉強をしようというう機運が一昨年春以来もりあがり、先輩が同期の諸君に呼びかけましたところ、五十余名の方々のご賛同をいただきました。

さて、奉仕活動の場所に何処を選ぶか種々協議の結果、新宿御苑が第一候補として選ばれました。

早速許可申請の準備に入り、昭和五十六年九月三十日申請書を提出いたしましたが、御苑側としては初めてのケースであり、審査や手続きが厳しく、職員向資料を詳細説明して漸く十月三日付職員第二三号を以て条件付許可書が交付されました。名称を「グリーンアカデミークラブ（略称GAC）」とし、ボランティア活動を開始したのであります。会員数五十四名、以来毎週月曜日（新宿御苑の休苑日）に出動、毎回二十～三十名が参加しています。

苑内では、庶園、菊、温室の三科に分かれて作業しております。

三年目を迎えた私達は大分仕事にも馴れて、セミプロ程度の手腕が認められるようになりましたことは喜ばしい限りであります。

成人学校卒業後は、週一回の新宿御苑の参加日が楽しみで、会員の情感はおのおのしゃ、コミュニケーションを計ることが何よりの楽しみ、悦びであり、また作業が終ってからの一杯は、本当に楽しいものです。五十七年度は、見学会を鎌倉あじさい寺を中心とした史蹟名所巡り、林業試験場秩父川実験林、高尾山、横浜市緑化センターの見学会等を催し、それぞれ四十数名の参加者があり盛況裡に終了いたしました。

青空の下、広々とした御苑での各種作業は実に楽しく、また大変勉強になります。（六期）

立教合せ先

世田谷区給七ー六ー一〇

宝達　正弥（事務担当）

電話四二六ー二〇二九

私と成人学校と絵

正垣　清

昭和五五年の春、私は、成人学校に入学、八十の手習をはじめた。八年年間のサラリーマン生活に終止符を打ち、余すといくばくもない人生を楽しみたかったのもあるが、先輩の影響に誘引されて、京都大学で生物学、それもその当時はまだ知られない海水生物を修めた。私は熱心に学んだ。勿論、さて、学問は、ただ、ただ、ひたすらに、学問の仕事も、力一杯やったのでいまさらかの悔もない。成人学校に入り、教養科目は、絵画を選んだ。京都に居た時、先生の指導の下で北陸館の「海水動物図鑑」の原生動物や下等動物の種画を描いたが、何れも表情のないものだから楽だった。成人学校で、初めて、後藤先生や、小笠原さんの「指導を受けて絵に興味を持ち始めた。それからは、古本屋を漁って、絵の参考書を求めた。その中に「ナリエの別冊で「植物画の描き方」というのがあり、この雑誌で、大田洋愛さんを知り、その中に小磯良平氏の記事があり、一緒に「植物図鑑」という立派な本を出しているこを知った。一枚の絵に写生だけでも六、七時間をかけ、十数年かかって百数十枚の絵を描いたのだそうである。小磯さんは、私の中学の同窓で、私の最も好きな絵をかく一人である。想絵だけだと思っていたら、水彩を用いてこんな精密画も画いておられたとは気がつかなかった。大に参考になったばかりか私の厚顔無智が恥かしくなった。

私はもと入事院の故佐藤達夫氏が、全くの素人であり乍ら「植物誌」や「私の植物図鑑」など数々の著書を著されての画の価値を認められ、それぞれ四十立派なものであることを知り、私も一つ庭に生えている植物の数々を写生して見ようと思い、F4のスケッチブックに二冊だけ描いたが、それを続けたいと、面接の際、坂本義夫先生にお願いしたので暇が出来たので何とか続けたいと思っている。有名な東山魁夷、古屋新、田中忠雄の諸氏も中学の同窓であるが、何れも福禄寿に近づき難い。成人学校の本能の講義や実習をこれまでしかったが体を動めてかから、皆さんと一緒の行動が取れないのは残念だった。今後もうかの寛敷お願い申し上げます。（六期）

新宿御苑点描

根本　信

グリーンアカデミー仕込みの技能を何んとか実地に活かし、さらに磨きをかけたいと願い、新宿御苑園芸グループ「グリーンアカデミークラブ」に参加してから、足掛け三年を経過した。

自分の好みで選んだ庭園科で、整枝、剪定の作業も仮つき、きころ、「どこの植木屋さんかね」と本職の植木屋さんから、声をかけられすっかりの気を見た。

手抜いて剪枝り、十枚ごとぜの鳥下見姿で鋏を使っていると、ちょっとした庭師なのだ。

「アーアー」と苑内ではかなり沢山の鶯がいて、我が物顔に甲高い声を響かせている。御苑一帯の薄暗い樹間に棲み、人が近づいても恐れる気配はなく適当な距離をとって苑内の芝生に大書を及ぼす。芝生の下のミミズなど虫類が好物。鋭い爪や嘴で芝を引き剥がす。張ったばかりの若らしい芝も容赦なく引っ掻り返す。お目当ての虫取りから次第に悪戯の本領を発揮して、芝を引剥がすことが面白くなりこれも遺憾する。

かくて環境庁新宿御苑の緊張の算を狂わし、役人を困惑させることなり、ついに捕獲作戦の展開となった。利口な鶯の方が先手を打ち、捕獲作戦の展開は、職員のかけた罠によって敢えなく御用となったのである。

籠の中身を寄せ合へる鶯五羽

猜疑の眼一斉に向く

抑えられた鶯はなんとも複雑な表情であった。

鶯の側では、この種の作業に従事した職員を覚えていて、苑内で油断をしている不意に頭をコツンとやられ、報復されることがあるとまであるという。

マツ、ウメ、モッコク、モチノキ、サワラなどなど、日本庭園の剪定作業は、私にとって文句なく楽しい。地上数メートルの天辺から鋏を入れ始める。初めは下を見ると恐のすくむ思いだったが、慣れるにしたがってときには樹上の一服という余裕もでてくる。

嬉のこと相にあれば赤松の

膚の温もり伝はりてきぬ

先週は昼休みに、庭園祖の皆んなで昨年剪定したウメ、マツ、イヌツゲなどの成育ぶりを見て回った。われわれが手を加えてから四季を一巡したそれぞれの木が、おそらく彼等にとってはなはだ不本意であったなら素人剪定にもかかわらず、生々として若葉を繁らせ、それなりの美しい姿を見せていてくれるのに感動し、剪定の時を語りあったものである。（六期）

GACの活躍（新宿御苑庭園科）

思い出

—創刊によせて—

安藤　サダ

この度、私が心から待ち望んで居りましたグリーンアカデミー同窓会が、誕生致しました。顧問には、西郷光彦先生、鈴木隆雄先生を御迎え致し、名誉会長には、鈴木正三先生、倉島先生を御迎えさせ、派遣同窓会が成されました。種々御尽力さいました先輩皆様に、心から感謝申しあげます。

想い起せば早いもので、私もこれからの大切な残された二年を有意義に楽しく過したいと考えて居りましたところ、グリーンアカデミーを知りました。早速入学致し、一学生となる事が出来ました。

同期の皆様も元気一杯頑張りしていらっしゃいます。園芸に、造園コースにと、それぞれ御自身の選ばれたコースに向っての学びは希望に満ち楽しいもので御座います。ある時はグループでの作り植を出し、また畑での野菜栽培、ある日は、竹を切っての垣根造りと指に新しいシュロ縄もやっと鋏じみ、真赤な夕日が西の空を染めている頃樹木様と出来上った垣根を楽しく眺め、どうにかこうにか先生からの「トリ出でて賞びは何にたとえるもなく、楽しい想い出の一刻で御座います。働くスタイル万点に、手に鋏を持って先生の御指導の下、柿の剪定、ブドウの剪定、そして実習の後のお弁当の楽しさ、美味しかったこと、また、浜離宮、古川庭園、六義園、朝日新聞社、校外授業や、新宿御苑の菊の展覧会に、楽しい想い出の数々が走馬燈のように浮きます。同窓会も立派に誕生致しグリーンアカデミーの益々の御発展を心から祈って止みません。（七期）

厚木農場実習の折

雨上がの蹲をいただきて一もとの

あざみの花は紫あざし

華道研究会について

鵜飼　一郎

「お花が見えなければいけない」「お花を手にしたとき、どうするかというイメージが浮かばなければならない。」とはいつも中村先生が言われる言葉です。調和と協調の美を求めて、そんなものを求めて我々グリーンアカデミーの「クラブ華道」の延長線上の活動として、研究会を組織しております。

世田谷区千二百名梅・桜五十四名、喜多見会員千五名の男女会員で、研究会を月二回やっております。

免許状を取ろうとか、有段者になろうとかではない。ただ仲間と会い好きなお花を生け、先生に直していただき、そして楽しいのでなろうとかではない。ただ仲間と会い好きなお花を生け、先生に直していただき、そして楽しいのです。

会の発足が始まり回数の方を中心として始められました。最初に世田谷が出来、次に梅ヶ丘、喜多見の順です。学校でのクラブ活動の延長線上の会合はこれから先もいよいよ発展していくものと思います。仲間と会って語り合い何等かの作業をする楽しさ、それは我々高齢者がはげまないためのよりよい活動であろうかと思います。（七期）

書を学びて

熊田　晴夫

二年前成人学校に入学して、中学二年以来とだえていた習字なるものに再び出会いにかかり、学校での二時間と宿題を書く一二時間が精一杯の努力でした。

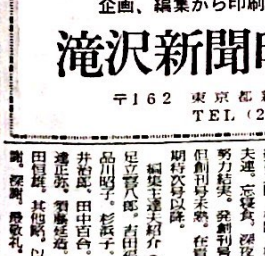
本科教師子のクラブ発足会の時、生れて初めて条幅なるものに取組み、教室で高橋先生の書れる姿を見て、書き方もその時初めてわかった次第です。成人学校で親しくしていただいた斎藤座三氏は師範の資格を持って居られ、先ず同氏にアメミヤへ連れていって買って筆、切り墨等十数点のものを選んで貰い、書き方も書き出しは柿小型にポイントの字は柿大き目に、渇筆先生して、左右不均等になる様実際に指導して貰って、苦心の結果やっと書き上げました。展覧会に表彰した自分の書を見た時、上手下手は別にして一つの感激なるものを感じました。

書は友を選べと言う様に、斎藤氏と親しくした関係上、昨年の暮日本書道教育学会の昇級試験に挑戦する事を推められて入会し、本年二月より、漢字半紙、漢字条幅、かな半紙の三部門に挑戦する事にしました。一級よりスタートして漸次に六級になりました。

世田谷区の場合は毎週に月一級づつ早く昇級されましたが、かなり半紙は学校で習っていない関係もあって、一度落ちて七級です。毎月昇級し度い願望にかられ一月中何とか毎日筆を取る様になりました。

また、昨年四月頃より般若心経の写経の書き方の指導を受け、昨年暮、母の三回忌法要の節、金銀二色で写経し墨に納めて仏前に供えたところ、参列者より大変褒められて大いに面目を施しました。

書は書けば書く程興味が出て来て、最近は展覧会に時折行って上手な方の書を見る事も楽しみを感じる様になりました。短時日にこの様に書に対する面白味を味わえる様にしてくれた良き友に思まれた事に大いに感謝して居ります。（七期）



厚木農場における実習（造園班）

純白の君子蘭

遠藤　宏二

表題を見て驚かれる人も居ようが、この話は自花の君子蘭ではない、葉が全く緑色のない白い君子蘭のことである。

君子蘭を愛育されている方は多かろうが班入りは高嶺に比べて相当他に取引されている。

私は十度成人学校の本科生になった五六年春に班入り株の実をとってビニールポットに播種した。何本か芽を出したが余り遅く生えて来た芽の中に一本やく真白いやつが見つかった。これは大したものだ、純白の葉の君子蘭なんて見たことはない、掘出物だとばかり喜んで内心最も得意であった。

その成長はおそかったが、葉が三、四側になった、重った葉は皆白一色である。寒くなった頃此の秘密を近くに居られる森田先生に見てもらおうと、お暇の時間をみて我家に御案内した。そこで他のものをお見せした後と、得意気に白葉の君子蘭の小苗を頂何ですと示すと先生は平然としてちょっと珍しいが、これは育たないでしょう。葉緑素がないからと云われてがっかりした。なるほど暫くたつと段々に弱いがなくなり最期の姿なる頃とうとう駄目になり私の夢ははかなく消えてしまった。

考えて見れば当り前のことであるが、つい惜がからまると気が付かないものである。

後日談であるが、フーケンビリアの班入りの株に又純白の葉の枝が出て来た。四、五〇種に挿びた枝そのものも黄色で全く緑がなかった、これも前と同じ理由であまり元気がなく成長が止まってしまった。但し他の枝から若干養分の補給があるのかやく枯れることはないようである。（七期）

新聞、同人誌、パンフレット、その他
企画、編集から印刷のことならおまかせ下さい。

滝沢新聞印刷株式会社

〒162　東京都新宿区山吹町331
TEL（260）8201（代）

名簿訂正

二期　田中　豊子
三〇四ー九七〇〇

会員名簿に誤記がありました右のとおりと訂正願います

原稿募集

創刊は、お蔭をもってご覧のとおり沢山の玉稿を頂戴できました。厚く御礼申し上げます。

紙面の都合により一部割愛し、また改句に送らざるを得ないものもあり、その点深くお詫び申しあげます。

さて、第二号は来る九月下旬、新校舎竣工記念号として発行の予定です。

会員各位奮って御投稿ください。

お待ちいたしております。

一、内容　随想、紀行、提案、俳句、短歌等

二、字数　八百字内外

三、締切　八月十五日

四、送先　〒一五六
世田谷区宮坂
三ー三六ー一五
杉山　宏

訃報

本同窓会々員長内田虎次氏は五月十二日午後七時十分、心臓病作のため入院先の病院で逝去されました。

謹んで哀悼の意を表し御冥福をお祈りいたします。

なお、会則により弔慰金を御遺族にお送り致しました。

編集後記

—慨恨録—

昭和五十八年弥生日、於事務所。東京農大成人学校在校生教人参集、相談。某人提案。如何に時期到来。同窓会設立案。他無異議。早速賛成。即刻、設立可否。談論白出決定。設立準備委員会発足。某人即現副会長。編集子亦未席着既。以後会員数十回。送完成。組織会則。予算案等々。更検討人事人選。互選議長。役員。其他易々決定。皆遺憾拍手。唯遺憾有不適人選。会報発行編集子決定。決定理由。編集子者。某新聞社元在職40年間。但其間皆無。執筆。校正。整理。編集歴。重複確認。皆無。加之無能。辞退言訳。不許。暫定出発。五里霧中。苦労始。連日泣く。気分改新。開直。行動開始。八方破之法。大募集。助人。続々応募。十数名。感謝感泣。本職経験者数。編集子左端。本格的出発。但難題山積。切崩作戦開始。会報出版予算確少。取材費等増額要求。否。手弁当。即答聞手毒母。収入源探究。発案。広告掲載。提携料徴収。漸利多発。東奔西走奮闘。予定数未了。印刷費属。収支未曾。〆。応。発刊生二三回。作業続行。原稿執筆依頼。皆是無謝礼。心痛。陳謝。昏倒。等々。編集会議続々。印刷所往復数行。連絡再三四。校閲。校正。編集主任逢北浜。忘寝食。深夜。編集子感謝。努力結実。発創刊号。高歳！但創刊号未熟。在貴編集子。会御期待次号以降。

編集主任　紹介（卒業年次順）

足立寛八郎、吉田梅子、杉戸敏男、品川昭子、杉浜子、岩田良一、岩井哲郎、田中百合、高村フサ、宝達正弥、望月廷吉、大塚清郎、依田信雄、其他多数。以上敬称略。

Scanned by CamScanner